令和６年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和　6 年　6 月　21 日

評価対象事業		評価者	環境施設課長　不破　寛和
環境-10	最終処分事業 ■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課	環境施設課
		関連課	

総合計画上の位置付け	分野	3-(3)　生活環境	施策の方針	3-(3)-①3Rの推進・ごみの適正処理

1　事業の目的

対象	焼却炉から排出される焼却残さ
意図	焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。
効果	最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

2　令和5年（2023年）度に実施した事業の概要

・焼却残さ全量を溶融固化等処理により路盤材等に加工し、資源化を推進した。
・最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

3　事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業（主な経費等）	指標（単位）	令和5年度 指標（実績値／目標値） 事業費（決算／当初）（千円）	令和6年度 指標（目標値） 予算額（千円）	達成度
01	焼却残さ溶融固化事業	焼却残さ溶融固化処理業務委託　等	焼却残さの資源化（%）	100 / 100 126,782 / 119,063	129,446	100%
02	最終処分場周辺維持管理事業	水質・ダイオキシン類検査、営農損失補償金　等	適切な維持管理に係る調査業務執行率（%）	100 / 100 2,884 / 4,263	5,325	100%
		財源内訳	国県支出金	/		
			地方債	/		
			その他特定財源	/		
			一般財源	129666 / 123,326	134,771	
		事業費の合計（千円）		129,666 / 123,326	134,771	
		人件費（千円）		2,279	2,338	

4　この事業に関わる職員数（毎年度4月1日時点）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.8	0.6	0.3	0.3	0.3	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5　評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	焼却残さ溶融固化事業	焼却灰の全量資源化（溶融固化処理等）を行った。	「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現に向け、焼却灰を埋め立てることなく資源化することにより、循環型社会の形成に寄与する。	安定的な処理を行うため、バックアップ体制を確保する。
02	最終処分場周辺維持管理事業	最終処分場の適切な維持管理に必要となる調査業務を実施した。	最終処分場の維持管理を行うことにより、適切なごみ処理体制の構築に寄与する。	最終処分場の廃止条件の拡大等について関係機関と協議を進める。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1　事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3　外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3　統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1　市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4　法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1　目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3　受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9　実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価　※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】　□ 拡充　□ 改善・変更　■ 現状維持　□ 縮小　□ 休止・廃止

・稼働中の最終処分場を有していないとともに、「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現に向け、引き続き焼却残さの全量資源化を行う。
・廃止手続が整うまでの間、最終処分場(4及び5号地)の適切な維持管理を行う。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	焼却残さの資源化					単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
焼却灰の資源化(溶融固化処理等)の実施状況を評価するため(令和6年度末で名越クリーンセンターの焼却停止)	目標値	100	100	100	100	100	
	実績値	100	100	100	100		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	